

Kansai Economic Insight Monthly

2016/5/23

Vol.37 April/May

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第3週金曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet（各 APIR 研究員）です。

・ 本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	13
Release Calendar	14

要旨

-3月の生産は大幅増も震災の影響もあり先行きは不透明-

- ✓ 3月の鉱工業生産指数は大幅増加し2カ月ぶりの前月比プラス。ただし、一部業種の大幅増産が大きく寄与しているため、増産は一時的なものと予想される。
- ✓ 4月の輸出は7カ月連続の前年比マイナス。輸入は8カ月連続の同マイナス。資源価格の下落が続いており、熊本地震の影響もあり輸出減が続くも、貿易収支は3カ月連続の黒字。
- ✓ 4月の消費者態度指数2カ月ぶりの悪化。一方、景気ウォッチャー調査現状判断DIは4カ月ぶりの改善。先行き判断DIも2カ月ぶりに改善したが、今後熊本地震による影響が出てくること予想され、先行きの景況感は悪化する可能性がある。
- ✓ 1月の関西2府4県の現金給与総額は2カ月ぶりの下落。一方、2月の「関西コア」賃金指数は2カ月ぶりに上昇したが、小幅にとどまっている。
- ✓ 関西3月の大型小売店の販売額は、前年同月比-0.6%の減少と4カ月ぶりのマイナス。スーパーの好調が続く中、百貨店は前年比マイナスが続いている。
- ✓ 3月の新設住宅着工戸数は3カ月連続の前年比プラス。4月のマンション契約率は4カ月連続の70%台。
- ✓ 3月の有効求人倍率は2カ月連続の小幅上昇。新規求人倍率は低下したものの、訪日外国人客増加を背景に雇用情勢は引き続き好調を維持。完全失業率は上昇したものの、労働力人口と就業者数の増加がみられ、雇用環境は好調が続く。
- ✓ 4月の公共工事請負金額3カ月連続の前年比プラス。3月の建設工事は7カ月連続の同マイナス。建設工事は引き続き停滞している。
- ✓ 4月関空の訪日外客数は55万7,170人で歴史的水準となり、39カ月連続のプラス。一方、出国日本人数は22万5,040人、同+9.0%と4カ月連続で増加した。
- ✓ 中国4月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は前月から-0.1ポイント下落。50ポイントを上回ったものの、2015年以降は停滞。同月の不動産価格は主要70都市のうち65都市で上昇。バブルが再び発生していると見られる。

【関西経済のトレンド】

	2015年										2016年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
生産	↓	↓	↑	→	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↓	↑	
貿易	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	→	↑	→	↑	↑	↑
センチメント	→	↓	↑	↓	↓	↓	→	↓	↑	↓	↓	↓	↑
消費	↑	↑	→	↑	↑	↑	↑	→	→	↑	↑	→	
住宅	↓	↑	↑	→	→	→	↑	→	↓	↑	↑	↑	
雇用	↑	↑	→	↑	↑	↑	→	↑	↑	→	↑	↑	
公共工事	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↓	→	→	↓	↑	↑	↑
中国	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓	↓	↓	→	→

【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

2016年3月の鉱工業指数(速報値：季節調整済，2010年=100)を見ると、生産は106.1で前月比+7.3%、出荷は102.7で同+6.3%と大幅上昇。いずれも2カ月ぶりのプラス。在庫は119.2で同+0.4%と2カ月連続の増加となった。結果、1-3月期は前期比+1.1%と2期ぶりのプラスとなったが、2015年度の生産は前年比-1.3%と3年ぶりのマイナス。なお、3月の実質輸出は前月比マイナスだった。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械(同+22.9%、2カ月ぶり)、金属製品(同+32.3%、2カ月ぶり)、電気機械(同+3.5%、2カ月ぶり)等が増産となった。一方、化学(除. 医薬品)(同-1.9%、2カ月ぶり)、プラスチック製品(同-4.9%、2カ月連続)、電子部品・デバイス(同-0.6%、2カ月連続)等が減産となった。

足下、生産の伸びは強いが、業種別に寄与度を見ると、はん用・生産用・業務用機械が+4.0%ポイント、金属製品が+1.8%ポイントと、一部業種の反動増の可能性があり、増産は一時的なものと予想される。

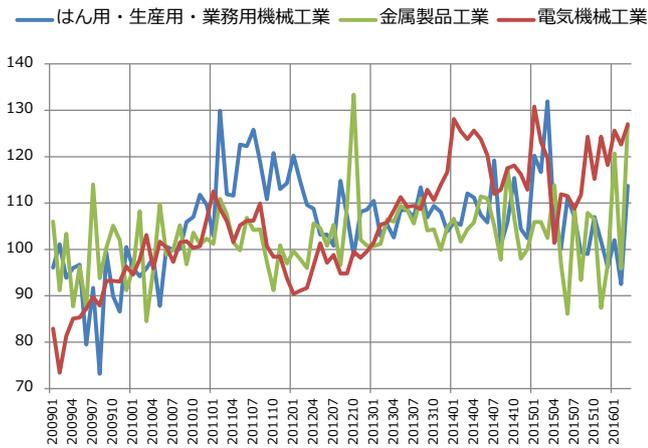
鉱工業指数の推移(関西：2016年3月まで、2010年=100)



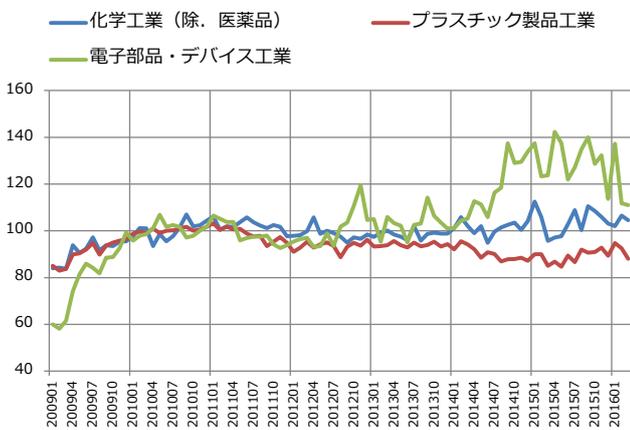
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西：2016年2月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移 (続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

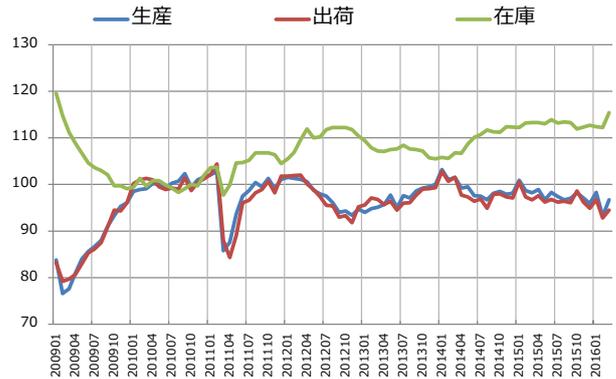
(2) 全国の生産動向

全国における3月の鉱工業指数(確報値：季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は96.7となり前月比+3.8%、出荷は94.5で同+1.8%といずれも2カ月ぶりの上昇。在庫は115.4で同+2.9%と3カ月ぶりの上昇となった。生産は前月の予測調査の伸びに近い結果となった。

業種別にみると、輸送機械(同+7.2%)、はん用・生産用・業務用機械(同+3.8%)、金属製品(同+11.9%)等を中心に増産となった。一方、石油・石炭製品(同-1.0%)、情報通信機械(同-0.2%)は減産となった。

結果、1-3月期の生産は前期比-1.0%と2期ぶりの減産、2015年度は前年比-1.0%と2年連続の減産となった。製造工業生産予測調査によれば、4月は同+2.6%の増産、5月は同-2.3%の減産。4月の予測値は前月(同+5.7%)から下方修正となった。今後の生産増は楽観視できない。

鉱工業指数の推移(全国：2016年3月まで、2010年=100)



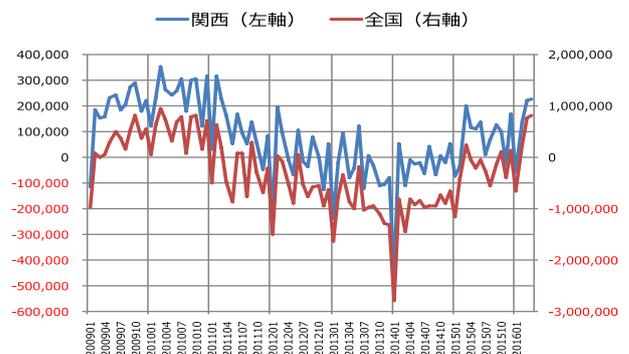
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、4月関西の貿易収支は+2,231億円と3カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+94.3%改善した。全国の貿易収支(速報値)も+8,235億円と3カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比8,818億円改善した。なお、2015年度の貿易収支は、関西は+1兆974億円と4年ぶりの黒字となり、前年比1兆1,284億円の改善。全国は-1兆821億円と5年連続の赤字も同8,046億円の改善。

関西・全国の貿易収支の推移：(百万円、2016年4月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

全国、関西とも、輸出の減速を上回るペースで輸入が落ち込んでおり、結果として貿易収支は改善が続いている。

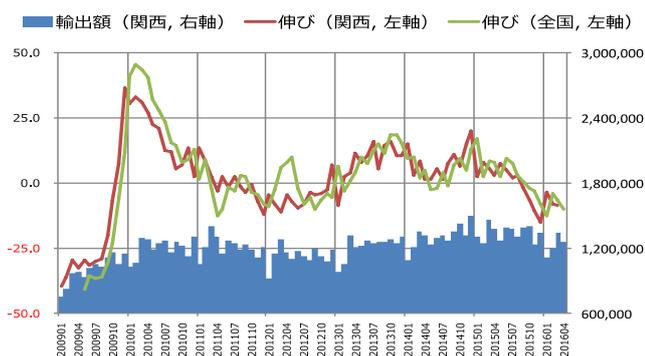
(2) 輸出

関西 4 月の輸出額(速報値)は 1 兆 2,608 億円。前年同月比-8.8%減少し、7 カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、科学光学機器の輸出が減少した。

全国 4 月の輸出額(速報値)は 5 兆 8,892 億円、前年同月比-10.1%と 7 カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、自動車、有機化合物の輸出が減少。自動車に関しては、熊本地震に伴う生産ラインの停止が響いた。

なお、同月の為替レート(税関長公示レートベース)は 111.23 円と前年同月比+7.2%の円高となった。

関西・全国の輸出の推移(百万円, 前年同月比, 2016 年 4 月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

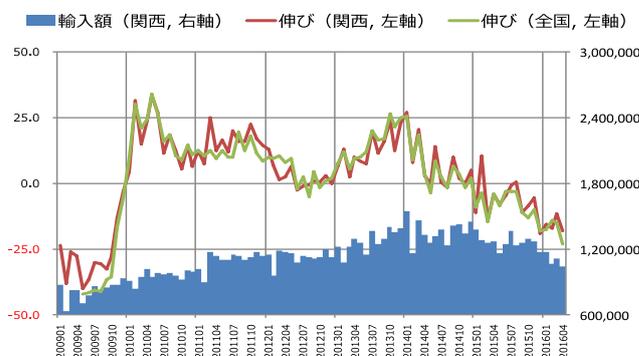
関西 4 月の輸入額(速報値)は 1 兆 377 億円、伸びは前年同月比-18.1%と 8 カ月連続の減少。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油が減少した。

全国 4 月の輸入額(速報値)は 5 兆 657 億円、前年同月比-23.3%と 16 カ月連続の減少。財別に見れば、原油、液化天然ガス、石油製品等の輸入が減少している。

資源価格は引き続き前年比大幅下落傾向にあり、結果、輸入額の伸びは関西、全国とも大幅マイナスが続いている。た

だし、5 月以降は原油価格が底打ちしていることから、今後は輸入額減少のペースは緩やかなものとなると考えられる。

関西・全国の輸入の推移(百万円, 前年同月比, 2016 年 4 月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西 4 月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+2,284 億円と 3 カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+49.8%大幅改善した。輸出は 6 カ月連続の減少(同-7.1%)。財別に見れば、鉄鋼、科学光学機器等が減少した。一方、輸入は 8 カ月連続の減少(同-18.8%)。財別に見ると、通信機、衣類及び同付属品等が減少した。

うち、対中貿易収支は-466 億円と 50 カ月連続の赤字であったものの、赤字幅は前年同月から縮小した(同-55.0%)。輸出は 2 カ月連続の減少(同-5.6%)。輸入は 2 カ月ぶりの減少(同-17.9%)となった。対中輸出の赤字幅は縮小したが、中国経済の低迷を反映して輸出は低調な状況が続いている。

対米貿易収支は+804 億円と黒字基調が続いているものの、黒字幅は 3 カ月ぶりに前年から縮小(同-4.5%)。うち、輸出は 6 カ月連続のマイナスとなった(同-10.8%)。財別に見れば、原動機、鉄鋼等が減少した。輸入も 3 カ月連続の減少(同-15.6%)。財別に見れば、半導体等製造装置、有機化合物等が減少となった。

対 EU 貿易収支は+210 億円と 2 カ月連続の黒字となり、黒字幅は前年同月から+13.8%拡大した。輸出は 7 カ月連続の減少(同-4.1%)。財別に見れば、医薬品、非鉄金属等が減

少した。輸入は2カ月連続の減少(同-6.7%)。財別に見れば、半導体等製造装置、バッグ類等が減少となった。

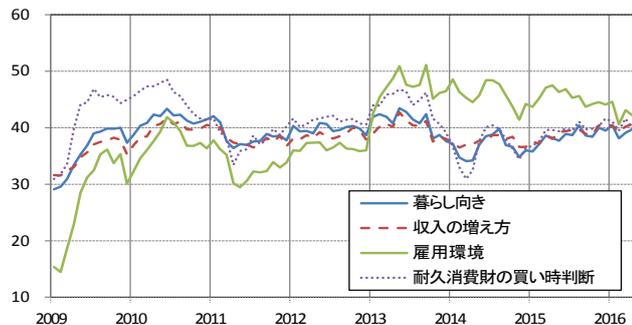
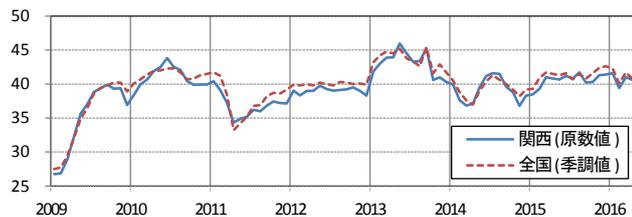
【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西の4月の消費者態度指数(原数値)は前月比-0.4ポイントの40.6で、2カ月ぶりの悪化。全国(季節調整値)でも同-0.9ポイントの40.8と2カ月ぶりの悪化。改善した先月から反転した理由として、円高や株式市場の不安定な動きが継続していたこと、ガソリン価格の上昇などが消費者心理の悪化に寄与した。また、調査基準日が4月15日であったことから、熊本地震の前震が4月14日に発生し、調査結果に影響したという指摘もあるが、本格的な影響はこれからである。内閣府は消費者心理の基調判断を「足踏みがみられる」として2カ月連続で据え置いた。

関西で同指数の構成項目をみると、「暮らし向き」が前月比+0.6ポイント、「収入の増え方」が同+0.4ポイント(いずれも2カ月連続)上昇した。一方、「雇用環境」が同-0.9ポイント、「耐久消費財の買い時判断」が同-1.7ポイント(いずれも2カ月ぶり)悪化した。消費者マインドは前月から低下しており、熊本地震の影響も考えれば、景気の先行き不透明感は一層高まっている。

消費者態度指数(2016年4月まで)



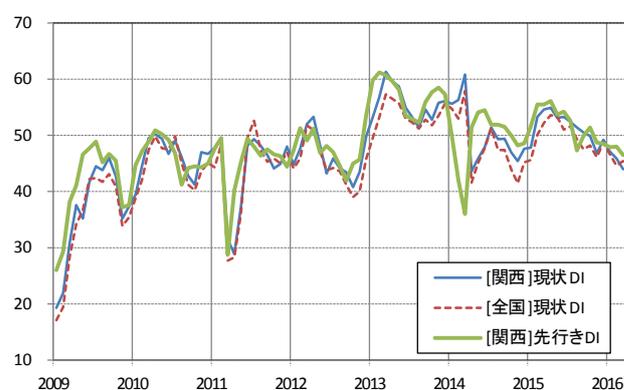
(出所) 内閣府「消費動向調査」

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の4月の現状判断DI(調査期間:25日から月末にかけて)は44.1となり4カ月ぶりの改善だが、前月比+0.1ポイント小幅上昇にとどまった。景況感の良し悪しの分かれ目となる50を7カ月連続で下回っている。一方、全国では同-1.9ポイント低下し43.5となり、2カ月ぶりに悪化した。背景として、熊本地震以降、旅行や宴会のキャンセルが起きる等、自粛ムードが広がっていることも悪化に寄与している。関西ではインバウンドの増勢は鈍化しているものの、依然高水準にあり、センチメントは小幅ながら改善となったと言える。

また、先行き判断DIは、関西では46.7と前月比+0.2ポイント小幅上昇し、2カ月ぶりの改善。一方、全国は同-1.2ポイント低下した。関西では熊本地震による影響は今のところ軽微であるが、今後影響が出てくることが予想され、先行きの景況感悪化する可能性がある。

景気ウォッチャー調査(2016年4月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

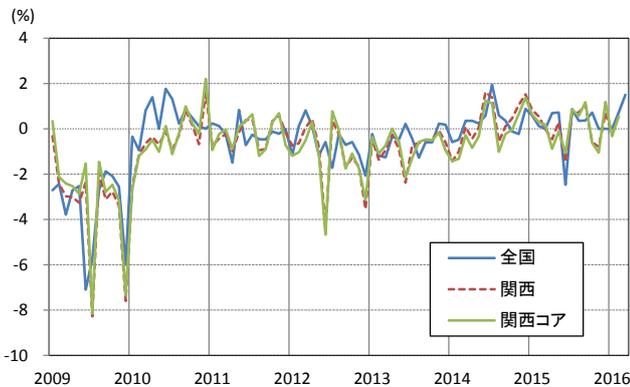
1月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は25万9,836円で前年同月比-0.2%となり、2カ月ぶりの下落。府県別では、奈良県が同+5.5%(2カ月ぶり)に上昇。一方、和歌山県が同-3.5%(2カ月連続)、京都府が同-1.5%(2カ月ぶり)、滋賀県が同-0.4%(3カ月連続)、兵庫県が同-0.2%(2カ月連続)、大阪府が同-0.1%(2カ月ぶり)のマイ

ナスとなった。

また、京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は2月に前年同月比+0.6%と2カ月ぶりに上昇した。兵庫県の伸び率が+1.2%と5カ月ぶりに1%超となったが、「関西コア」の伸び率は小幅にとどまっている。

全国(確報値)の現金給与総額をみると、3月は前年同月比+1.5%と2カ月連続の上昇。内訳をみると、所定内給与は同+0.6%と2カ月連続のプラス、所定外給与も同+1.3%と2カ月連続のプラス。特別給与は同+15.4%と3カ月連続のプラス。所定外給与が速報値では同-0.2%だったが、確報値で上昇したため、賃金総額の伸び率は上方修正された。また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同+1.6%と2カ月連続の上昇となった。

現金給与総額(前年同月比：％、2016年3月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

(2) 大型小売店販売額

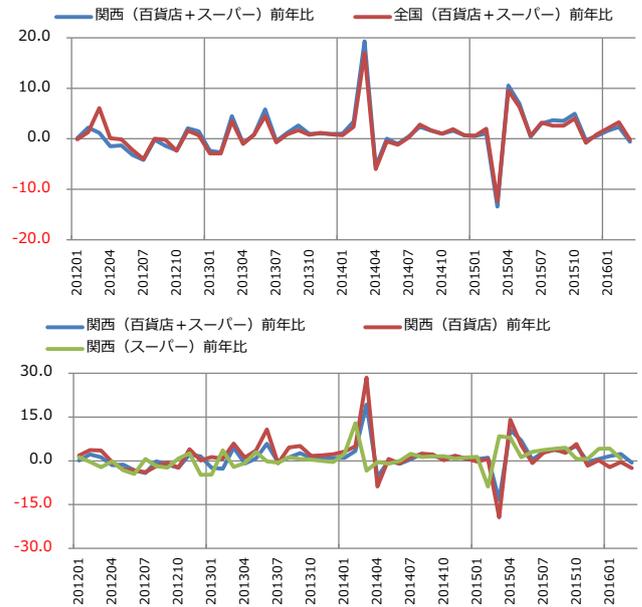
関西3月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-0.6%の減少と4カ月ぶりのマイナス。百貨店は同-2.5%減少し3カ月連続のマイナス。スーパーは同+0.7%と12カ月連続のプラス。

全国3月の大型小売店販売額(全店ベース)は同-0.2%と

4カ月ぶりのマイナスとなっている。

スーパーの好調が続く中、百貨店は前年比マイナスが続いている。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2016年3月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

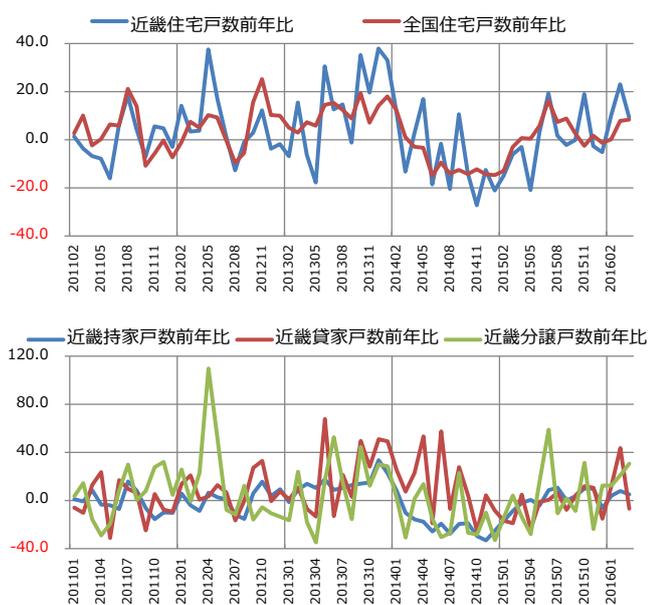
(3) 新設住宅着工の動向

関西3月の新設住宅着工戸数は11,846戸。前年同月比+9.4%と3カ月連続のプラス。全国は75,744戸と同+8.4%増加し、3カ月連続のプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は2,721戸。同+4.9%と3カ月連続のプラス。貸家は4,207戸、同-6.9%と3カ月ぶりのマイナス。分譲は4,732戸、同+30.6%大幅増加し、4カ月連続のプラス。

4月の関西マンション契約率は77.8%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安となる70%を4カ月連続で上回った。首都圏は67.2%(季節調整値、APIR推計)と、前月(64.3%)から上昇したものの、70%を引き続き下回った。

新設住宅着工(前年同月比: %, 2016年3月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

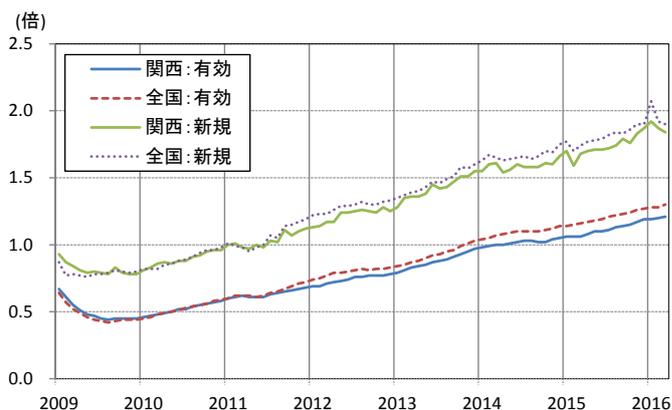
3月の関西の有効求人倍率は、1.21倍で前月比+0.01ポイントと2カ月連続の小幅上昇。1991年6月(1.22倍)以来の高水準が続いている。3月の全国は1.30倍で前月比+0.02ポイント上昇。1991年12月(1.31)以来、24年ぶりに1.30を上回った。雇用情勢は引き続き好調を維持している。

府県別では、兵庫県で前月比+0.02ポイント、京都府・大阪府で同+0.01ポイントといずれも小幅上昇。一方、滋賀県は同-0.01ポイント、和歌山県は同-0.02ポイント、奈良県は同-0.03ポイント低下した。

3月の関西の新規求人倍率は、1.84倍と前月比-0.03ポイントと2カ月連続で低下した。全国は1.90倍と同-0.02ポイント低下した。

3月の関西の産業別新規求人数をみると、宿泊業・飲食サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉、建設業などで大きく増加していた。先月に引き続き、訪日外国人客の増加への対応によるものと見られる。

有効求人倍率の推移(季節調整値、2016年3月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(2016年3月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
3月	1.30	1.21	1.11	1.26	1.30	1.08	1.08	1.12
2月	1.28	1.20	1.12	1.25	1.29	1.06	1.11	1.14

(2) 完全失業率の推移

3月の関西の完全失業率(季節調整値: APIR 推計)は3.6%で前月比+0.4%ポイント上昇した。しかし、内訳をみると労働力人口の増加(非労働力人口の減少)と就業者数の増加がみられる。雇用環境は好調であるとみられる。

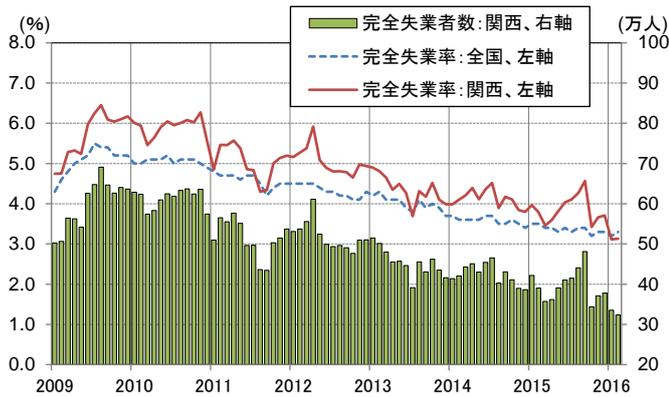
関西の完全失業者数(季節調整値: APIR 推計)は36.7万人で前月から+4.3万人増加。3カ月ぶりに悪化。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.2%と前月比-0.1%ポイント小幅下落。2カ月ぶりの改善となった。

3月の全国の完全失業者数(季節調整値)は211万人と前月比-5万人の減少。理由別にみると、新たに求職をした者が同+3万人増加している。

15~64歳の就業率(原数値, 全国ベース)は73.5%で前年同月比+0.8%ポイント上昇。特に女性は同+1.2%ポイント上昇していた。

完全失業率の推移 (季節調整値: 2016年3月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

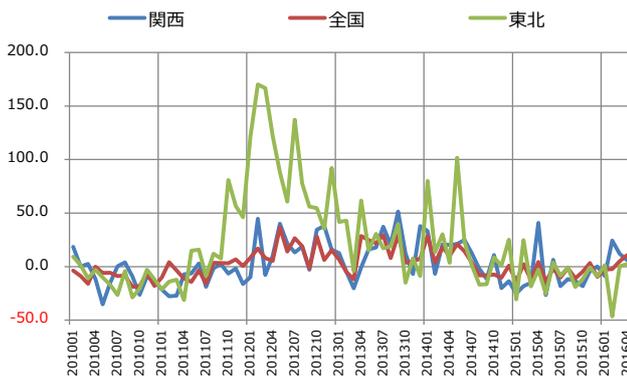
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西 4 月の公共工事請負金額は 2,796 億円で前年同月比 +6.2%と 3 カ月連続の増加。全国は 2 兆 301 億円で同 +10.6%と 2 カ月連続の増加。東北は 3,710 億円で同 +2.4%と 2 カ月連続のプラス。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は大幅増加し、3 カ月連続のプラス。全国も大幅増加となり 2 カ月ぶりのプラスとなった(関西:同+65.7%、全国:同+26.2%)。

公共工事請負金額(前年同月比: %、2016年4月まで)



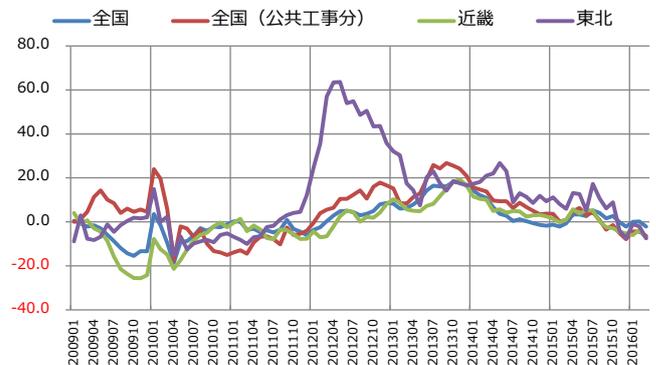
(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西 3 月の建設工事は 5,315 億円、前年同月比 -7.4%と 7 カ月連続で減少した。東北は 6,259 億円、同 -7.5%と 5 カ月連続の減少。結果、全国は 4 兆 4,237 億円となり、同 -2.1%

と 3 カ月ぶりの減少。うち、全国の公共工事は 2 兆 33 億円で同 -6.4%と 7 カ月連続のマイナスとなった。全国、関西、東北の建設工事はいずれも停滞が続いている。

建設工事(前年同月比: %、2016年3月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

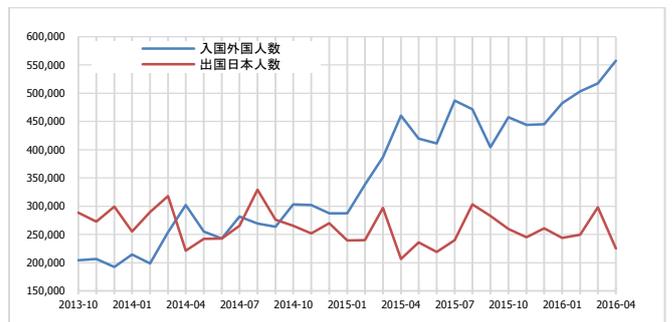
【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

4 月の関空への訪日外客数は 55 万 7,170 人、3 カ月連続で歴史的水準となった。前年同月比 +21.0%と 39 カ月連続のプラスとなった。外国人旅客総合数(出入国含む)は 114 万 9,540 人(同 +22.0%)となった。

また、出国日本人数は 22 万 5,040 人となり、前年同月比 +9.0%となった。

訪日外客数と出国日本人数(人、2016年4月まで)



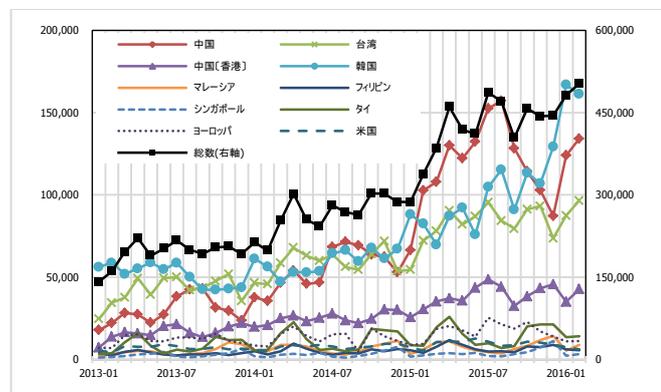
(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

(2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、2 月は韓国からの入国者数が 16 万 1,340 人(前年同月比 +95.8%)と最も多かった。次

いで、中国(香港を除く)が13万4,164人(同+30.6%)と多かった。台湾からは9万6,552人(同+33.7%)、中国(香港)からは4万2,717人(同+40.1%)となった。他のアジア各国からの入国者数は、タイが1万4,030人(同+67.9%)、マレーシアが8,855人(同+45.4%)、フィリピンが5,546人(同+35.7%)、シンガポールが3,253人(同+29.7%)、となった。他地域を見ると、ヨーロッパが1万1,120人(同+18.7%)と17カ月連続のプラス。米国からは6,110人(同+15.4%)と2カ月連続のプラスになった。

地域別訪日外客数(2016年2月:人、右軸:総数、左軸:各国)

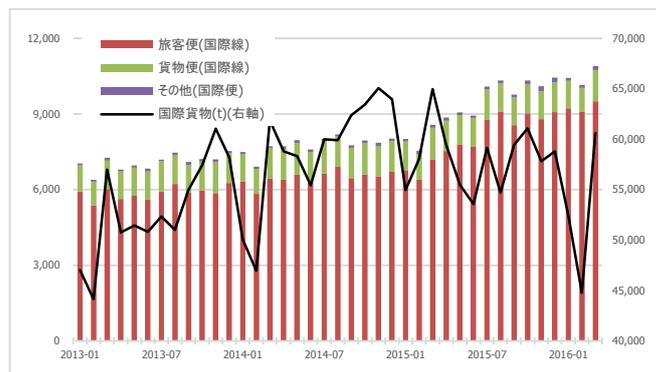


(出所) 法務省「出入国管理統計」

(3) 旅客・貨物便数トレンド

訪日外客数の大幅増加の背景には、国際線の便数増加がある。3月の総合便数(旅客・貨物合計)は1万898便で、歴史的水準となった。前年同月比+27.2%と30ヶ月連続の増加。特に、国際線旅客便数は9,502便(同+32.1%)と大幅に増加した。30ヶ月連続の増加。国際貨物便は1,240便(同-1.4%)、12ヶ月連続の減少となった。その他は156便(同+35.7%)であった。貨物便を重量ベースで見ると、3月は6万586トン。同-6.7%と11ヶ月連続の減少。

国際便数(左軸)・貨物(右軸)(2016年3月まで)



(出所) 新関西国際空港株式会社「運営概況ニュースリリース」

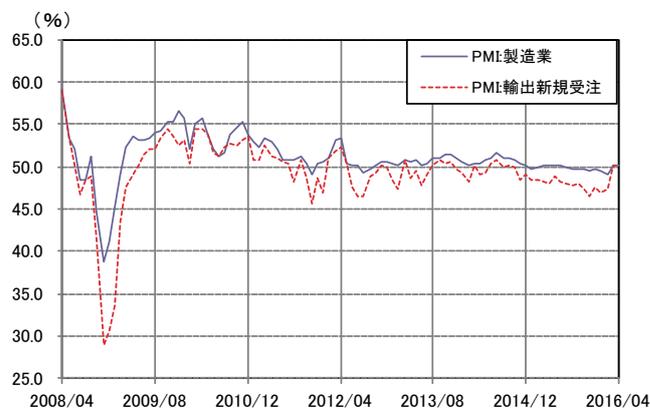
【中国景気モニター】

(1) センチメント

4月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は50.1となり、前月から-0.1ポイント下落した。また、非製造業購買担当者景況指数は53.5となり、前月から-0.3ポイント下落した。いずれも50ポイントを上回ったものの、2015年以降は停滞している。

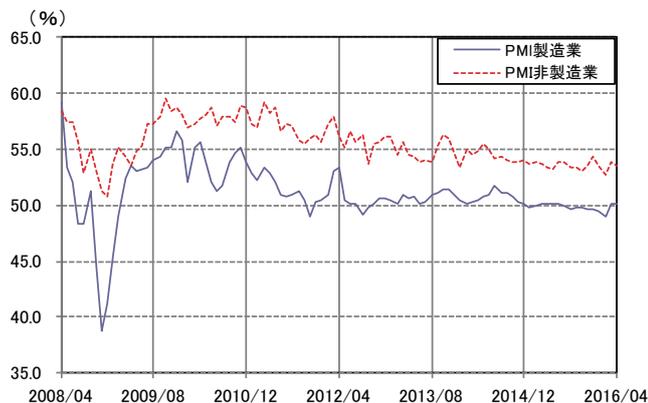
製造業のうち、生産指数は52.2となり、前月比-0.1ポイントの下落。新規受注指数は同-0.4ポイント下落し51.0となった。雇用指数は47.8と同-0.3ポイントの下落。いずれも2カ月ぶりのマイナス。輸出新規受注指数は50.1となり、同-0.1ポイント下落し、3カ月ぶりのマイナス。

中国製造業購買担当者景況指数(2016年4月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEICデータベース

中国製造業購買担当者景況指数(2016年4月まで)



(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

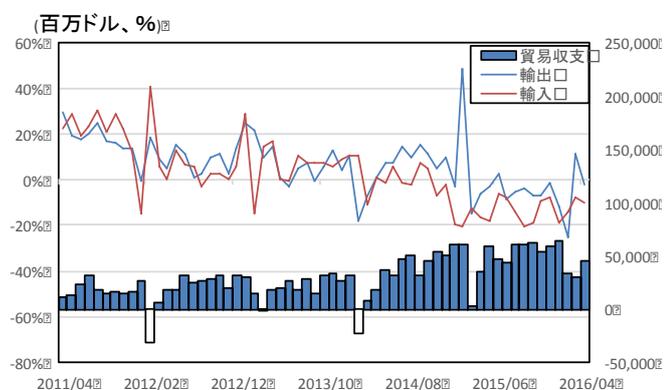
(2) 貿易動向

4月の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比-2.0%となり、先月(同+11.2%)から一転、伸びは2カ月ぶりにマイナスとなった。輸入額は同-10.5%(速報値)と18カ月連続のマイナス。貿易収支は、輸出額が24カ月連続で輸入額を上回り、+456億ドルの黒字であった。

うち、日本への輸出額は前年同月比-11.8%となり、先月(同+9.3%)のプラスから一転、2カ月ぶりのマイナス。日本からの輸入額は同-6.7%となり、18カ月連続のマイナス。

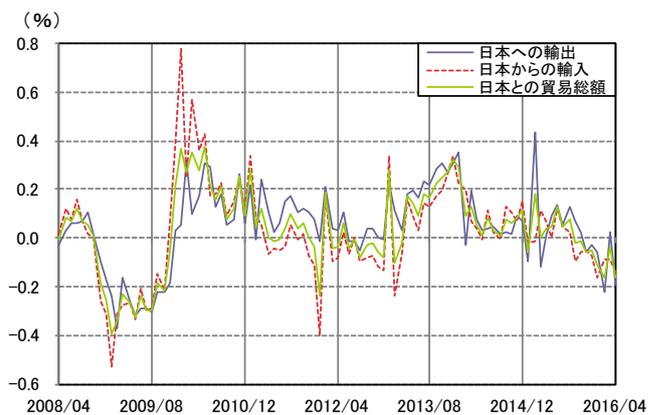
円ベースに換算すると、日本への輸出額は前年同月比-18.9%と2カ月ぶりのマイナス。輸入額は同-14.3%と8カ月連続のマイナスとなった。

中国の貿易動向 (前年同月比: ドル・ベース) (2016年4月まで)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

対日貿易 (前年同月比: 円ベース) (2016年4月まで)



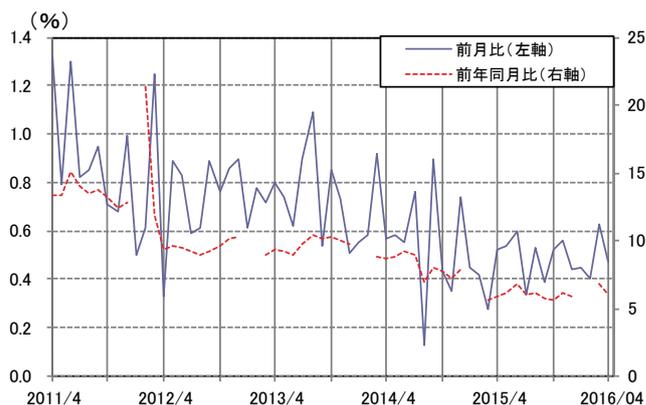
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(3) 工業生産

4月の工業生産は前月比+0.47%となり、前月から-0.16%ポイント下落。

産業別に見ると、自動車製造業(同+12.1%)、有色金属圧延加工業(同+11.0%)、医薬製造業(同+10.7%)、化学原料・製品製造業(同+10.0%)等が高い伸びを示す一方で、鉄道・輸送機器製造業(同+3.6%)、電力・熱力生産・供給業(+0.6%)等は比較的低調な伸びにとどまった。さらに、鉄鋼等精練・圧延加工業(同-0.3%)はマイナスとなった。

工業生産指数(2016年4月まで)



(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

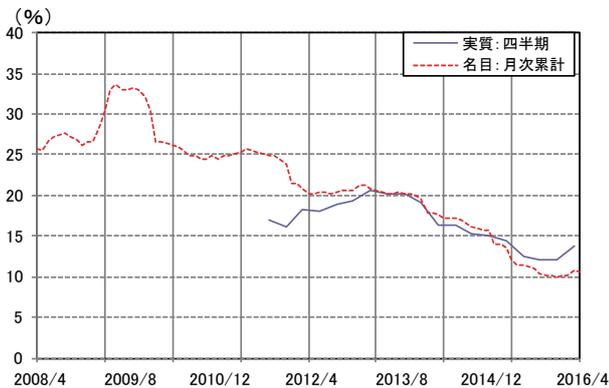
(4) 固定資産投資

1-4月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同月比+10.5%となり、伸びは先月(+10.7%)から-0.2%ポイント

下落し、低水準が続いている。一方、1-3 月期の(累積)固定資産投資(実質)は前年同月比+13.8%となり、2015 年 10-12 月期から+1.8%ポイント増加した。

産業別にみれば、第 1 次産業は前年同月比+21.7%、伸びは先月(同+25.5%)より-3.8%ポイント下落。第 2 次産業は同+7.3%となり伸びは同横ばい。第 3 次産業は同+12.4%と、伸びは先月(同+12.6%)から-0.2%ポイント小幅下落。

固定資産投資 (2016 年 4 月まで) (累積伸び率)

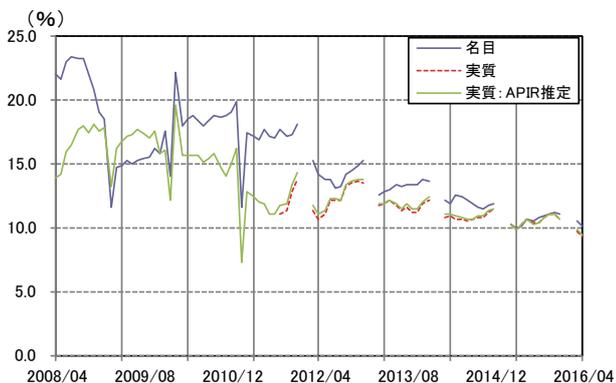


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 消費

4 月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+10.1%。伸びは先月(同+10.5%)から-0.4%ポイントの減少。消費の伸びに改善は見られない。

社会消費品小売総額 (2016 年 4 月まで)



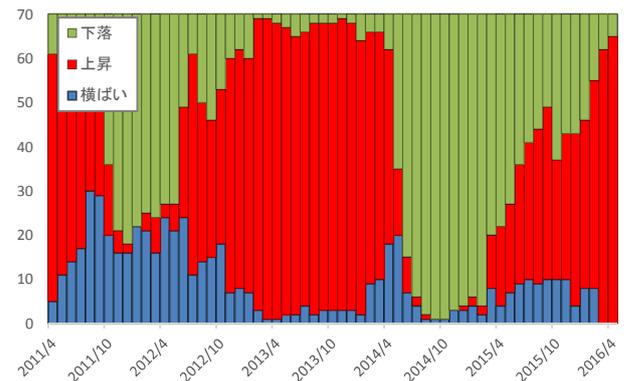
(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(6) 不動産市場

4 月中国の不動産市場は様子維持している。不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要 70 都市のうち、65 都市で上昇。住宅価格が下落した都市の数は 5 都市にまで減少している。不動産バブルが再び発生していると見られる。

新築住宅価格の主要都市集計 (2016 年 4 月まで: 都市数)

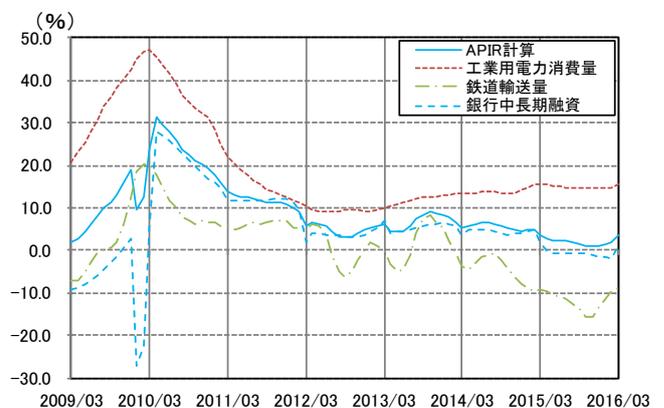


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(7) リコノミクス指数

3 月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+3.6%となった。内訳をみると、銀行中長期融資は同+15.4%、伸びは前月(同+14.9%)から+0.5%ポイント増加した。工業用電力消費量は同+1.2%となり、12 ヶ月ぶりのプラス。また、鉄道輸送量は同-9.0%、伸びは前月(同-9.6%)から小幅改善した。リコノミクス指数は小幅の増加となったが、依然として顕著な回復は見られない。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2016 年 3 月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh

Nguyet

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	15/4M	15/5M	15/6M	15/7M	15/8M	15/9M	15/10M	15/11M	15/12M	16/1M	16/2M	16/3M	16/4M
景況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	54.9	53.1	53.3	52.4	51.4	50.5	49.9	46.8	49.2	47.1	45.9	44.0	44.1
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	55.0	53.4	53.6	51.2	50.4	50.8	49.5	44.2	45.7	46.8	44.4	42.4	40.7
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	56.1	53.7	54.2	52.6	47.3	49.9	51.4	48.7	48.5	47.9	48.0	46.5	46.7
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	53.6	53.3	51.0	51.6	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7	46.6	44.6	45.4	43.5
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	53.2	53.6	50.4	50.8	48.8	47.0	48.1	44.4	47.7	45.6	43.2	44.3	42.2
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	54.2	54.5	53.5	51.9	48.2	49.1	49.1	48.2	48.2	49.5	48.2	46.7	45.5
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	40.8	40.7	41.2	40.8	41.7	40.2	40.3	41.3	41.4	41.6	39.4	41.0	40.6
[関西]「暮らし向き(原数値)	38.2	37.7	38.9	38.7	40.4	38.6	38.4	40.0	39.5	40.4	38.1	39.1	39.7
[関西]「収入の増え方(原数値)	38.0	39.2	39.4	39.6	39.7	38.9	38.8	40.4	40.4	40.4	39.3	40.2	40.6
[関西]「雇用環境(原数値)	47.5	46.3	46.8	45.3	45.6	43.7	44.2	44.5	44.1	44.6	40.6	43.1	42.2
[関西]「耐久消費財の買い時判断(原数値)	39.6	39.4	39.8	39.5	41.1	39.7	39.8	40.3	41.6	41.1	39.5	41.6	39.9
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	41.5	41.4	41.7	40.3	41.7	40.6	41.5	42.6	42.7	42.5	40.1	41.7	40.8
[関西]大型小売店販売額(10億円)	310.9	324.8	315.4	337.8	315.4	297.9	316.4	326.9	412.5	332.9	290.0	318.1	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	10.6	6.9	0.4	3.0	3.7	3.5	5.0	-0.3	0.6	1.6	2.3	-0.6	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,608.0	1,692.8	1,641.2	1,705.7	1,605.6	1,511.4	1,607.2	1,650.1	2,092.5	1,691.3	1,488.6	1,646.0	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	9.5	6.3	0.6	3.2	2.6	2.6	4.0	-0.8	0.9	2.1	3.2	-0.2	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	9,823	10,416	14,330	10,210	12,490	11,697	12,872	11,877	11,024	10,581	11,081	11,846	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	-20.9	3.2	19.2	1.7	-2.1	-0.1	19.0	-2.6	-5.2	10.2	23.1	9.4	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	75,617	71,720	88,118	78,263	80,255	77,872	77,153	79,697	75,452	67,815	72,831	75,744	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	0.4	5.8	16.3	7.4	8.8	2.6	-2.5	1.7	-1.3	0.2	7.8	8.4	-1.3
[関西]マンション契約率(季節調整値)	73.5	72.1	71.8	71.2	79.4	68.9	67.7	68.7	62.6	73.4	76.8	76.6	77.8
[関西]マンション契約率(原数値)	74.2	75.2	74.8	75.1	79.4	67.9	68.6	70.2	59.6	67.1	72.0	78.6	78.6
[全国]マンション契約率(季節調整値)	75.0	71.3	76.1	79.6	76.8	67.1	71.5	80.6	67.3	60.9	72.9	64.3	67.2
[全国]マンション契約率(原数値)	75.5	71.1	78.7	83.7	74.3	66.0	68.8	82.1	64.8	58.6	72.9	67.6	67.6
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	263.4	127.6	200.4	134.6	103.2	128.6	123.0	85.4	97.3	64.4	80.0	125.9	279.6
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	40.9	-26.5	6.4	-18.2	-11.6	-13.4	-18.2	-3.9	0.1	-8.8	24.3	12.0	6.2
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,836.1	1,129.4	1,556.4	1,463.2	1,113.2	1,246.1	1,253.0	872.0	808.6	653.5	696.8	1,339.5	2,030.1
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	4.4	-14.0	-1.8	-10.1	-1.3	-10.9	-4.8	3.3	-9.6	-2.6	-2.2	5.0	10.6
[関西]建設工事(総合、10億円)	467.9	467.5	487.0	500.3	507.4	521.0	540.7	561.0	578.1	564.6	562.6	531.5	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	5.8	3.8	5.4	5.2	0.2	-2.4	-2.8	-4.6	-5.2	-6.0	-3.7	-7.4	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3,632.1	3,549.4	3,727.0	3,934.5	4,195.9	4,402.8	4,642.3	4,712.0	4,732.5	4,611.1	4,520.7	4,423.7	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	3.4	3.3	2.5	5.2	4.1	1.6	2.6	-0.1	-2.1	0.0	0.2	-2.1	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,445.8	1,383.9	1,454.4	1,550.8	1,717.3	1,865.7	2,067.3	2,132.5	2,160.4	2,093.9	2,032.8	2,003.3	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比)	4.9	6.4	3.1	4.4	0.8	-3.5	-1.5	-5.1	-7.8	-4.3	-4.4	-6.4	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.1	100.9	102.6	102.8	100.4	101.6	104.1	102.5	99.2	104.1	98.7	106.1	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-4.1	-1.2	1.7	0.2	-2.3	1.2	1.3	-1.5	-3.0	4.9	-5.2	7.3	UN
[関西]「出荷指数(原数値、前年同月比)	-0.6	-4.8	0.0	-0.4	0.1	1.0	-4.5	0.0	-3.6	-8.6	-2.2	0.9	UN
[関西]「在庫指数(原数値、前年同月比)	1.9	0.3	0.9	0.5	-0.3	0.2	0.9	0.0	1.4	0.7	1.3	2.3	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	100.7	98.8	100.0	100.5	98.7	100.6	102.1	99.4	97.7	101.2	96.5	102.7	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、前月比)	-2.1	-1.9	1.2	0.5	-1.8	1.9	0.5	-2.6	-1.5	3.6	-4.6	6.3	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	116.7	116.9	117.6	119.0	118.0	118.4	118.1	118.6	118.1	117.4	118.9	119.2	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、前月比)	0.2	0.2	0.6	1.2	-0.8	0.3	-0.4	0.4	-0.2	-0.6	1.3	0.4	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	99.3	97.2	98.3	97.5	96.3	97.4	98.8	97.9	95.9	98.3	93.2	96.7	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	1.2	-2.1	1.1	-0.8	-1.2	1.1	1.4	-0.9	-1.2	2.5	-5.2	3.8	UN
[全国]「出荷指数(原数値、前年同月比)	0.2	-3.2	1.8	-0.4	0.6	-1.5	-0.8	0.0	-2.5	-5.8	-1.8	-1.2	UN
[全国]「在庫指数(原数値、前年同月比)	6.6	3.9	4.0	-0.8	2.1	2.1	0.2	0.0	0.0	0.3	-0.9	1.7	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	97.9	96.0	96.6	96.2	95.5	96.8	98.8	96.4	94.9	96.8	92.8	94.5	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、前月比)	0.6	-1.9	0.6	-0.4	-0.7	1.4	2.1	-2.4	-1.4	2.0	-4.1	1.8	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	113.8	112.9	114.6	113.7	114.0	113.6	111.4	111.9	112.7	112.5	112.1	115.4	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、前月比)	0.4	-0.8	1.5	-0.8	0.3	-0.4	-1.9	0.4	0.4	-0.2	-0.4	2.9	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	-0.5	0.3	-1.5	0.7	0.7	1.1	-0.6	-0.8	0.7	-0.2	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	-0.9	-0.1	-1.1	0.9	0.6	1.2	-0.6	-1.1	1.2	-0.3	0.6	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	0.7	0.7	-2.5	0.9	0.4	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.5	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.6	3.8	4.0	4.1	4.3	4.6	3.4	3.7	3.7	3.1	3.1	3.6	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.5	3.7	3.9	4.3	4.4	4.5	3.6	3.4	3.3	3.3	3.3	3.7	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.70	1.71	1.71	1.72	1.74	1.79	1.76	1.83	1.87	1.92	1.87	1.84	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.77	1.78	1.79	1.82	1.84	1.83	1.86	1.90	1.90	2.07	1.92	1.90	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.08	1.10	1.10	1.11	1.13	1.14	1.15	1.17	1.19	1.19	1.20	1.21	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.17	1.18	1.19	1.21	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	114.9	107.8	134.0	7.8	65.0	127.5	100.8	-29.3	167.5	-58.4	139.1	222.4	223.1
[関西]輸出(10億円)	1,382.7	1,264.3	1,383.4	1,374.6	1,299.4	1,386.8	1,398.2	1,237.0	1,338.7	1,110.0	1,199.9	1,337.1	1,260.8
[関西]輸出(前年同月比)	5.3	2.7	7.3	4.9	2.0	2.8	-1.9	-6.5	-10.8	-14.9	-3.4	-8.4	-8.8
[関西]輸入(10億円)	1,267.8	1,156.6	1,249.4	1,366.8	1,234.4	1,259.4	1,297.3	1,266.3	1,171.1	1,168.4	1,060.8	1,114.7	1,037.7
[関西]輸入(前年同月比)	-4.2	-8.1	-4.8	-0.5	0.4	-11.0	-8.8	-5.8	-19.3	-15.4	-17.1	-11.4	-18.1

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for May/June

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
2-May	3-May	4-May	5-May	6-May 中国製造業 PMI (5月)
9-May 消費動向調査(4月) 毎月勤労統計 (3月:速報値) 中国輸出入 (4月:速報値)	10-May 近畿貿易統計 (2月確報) 近畿貿易統計 (3月確速) 中国工業生産(4月) 中国消費小売総額 (4月)	11-May	12-May 景気ウォッチャー調査 (4月) 近畿鉱工業生産指数 (3月速報)	13-May 公共工事前払保証額 統計(4月)
16-May 商業動態調査 (3月:確報値) 中国固定資産投資 (4月) 中国不動産市場 (4月)	17-May 全国鉱工業生産指数 (3月:確報値)	18-May マンション契約率 (3月)	19-May 建設総合統計(3月)	20-May 毎月勤労統計 (3月:確報値)
23-May 全国貿易統計 (4月:速報) 近畿貿易統計 (4月速報)	24-May	25-May	26-May	27-May 全国貿易統計 (4月:確速)
30-May 商業動態調査 (4月:速報値) 近畿鉱工業生産指数 (3月確報)	31-May 求人倍率(4月) 完全失業率(4月) 新設住宅着工(4月) 全国鉱工業生産指数 (4月:速報値)	1-Jun	2-Jun 消費動向調査(5月)	3-Jun 毎月勤労統計 (4月:速報値)